

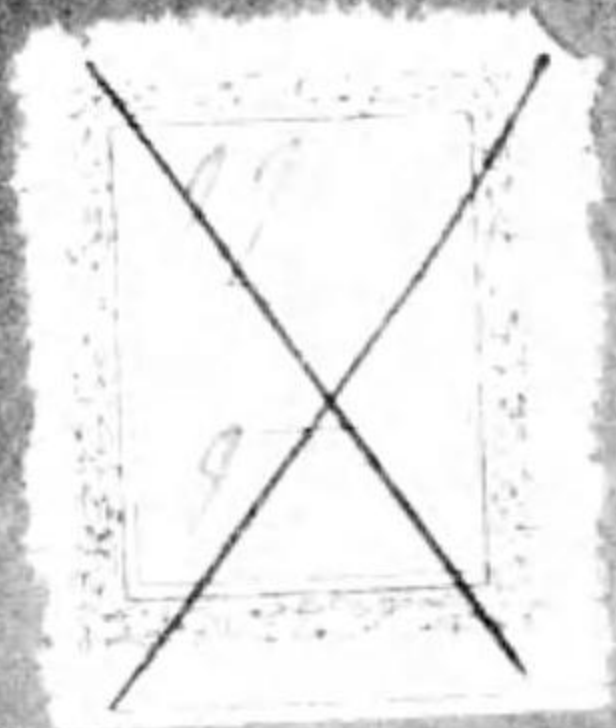
特 100
436

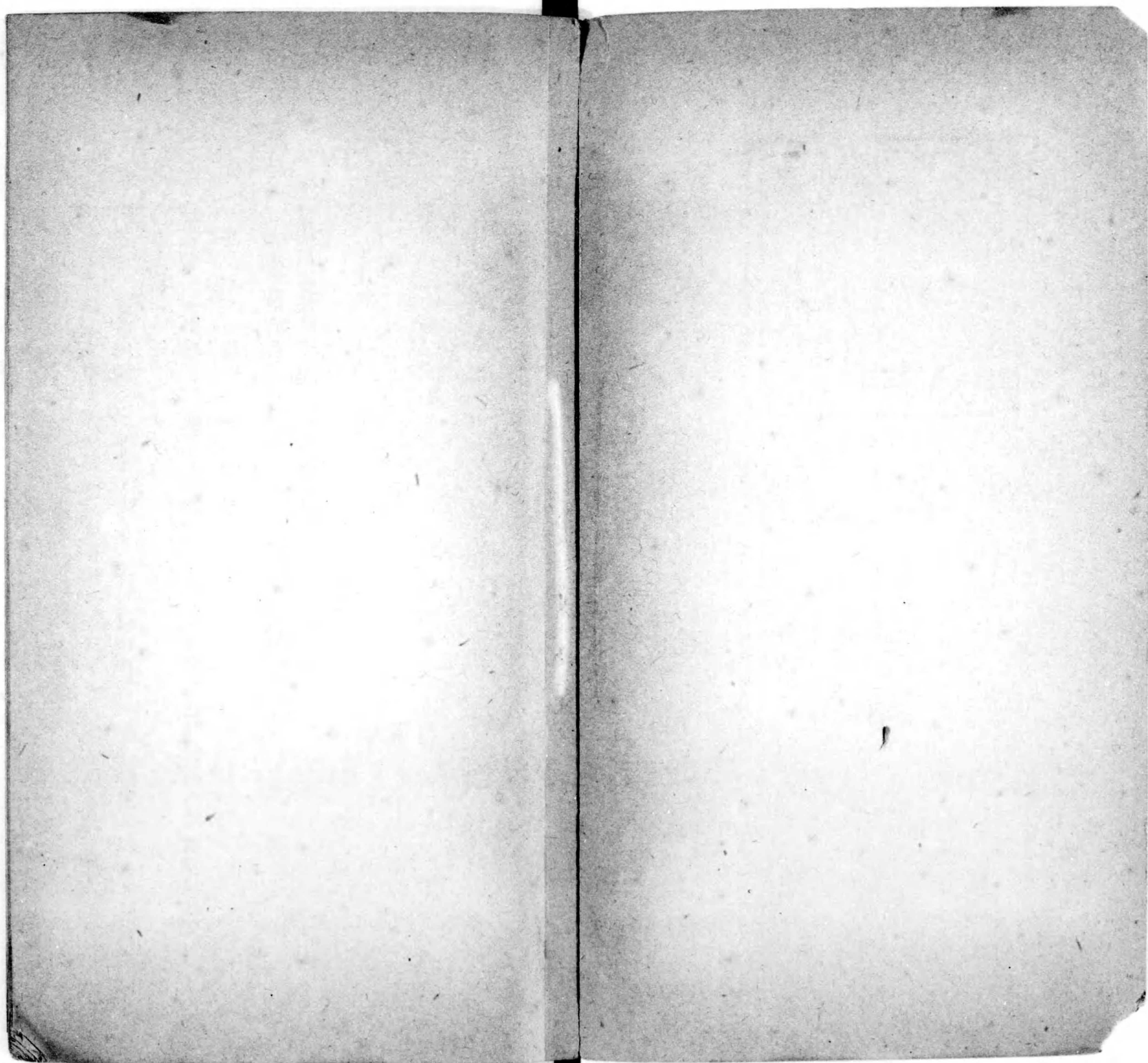


始



郡市町村是調查標準





特100
406

郡市町村是調査標準

新潟縣訓令第二十號

郡市町村是調査標準左ノ通り相定ム

大正三年七月二十七日

新潟縣知事

坂

仲

輔

郡 役 所
市 役 所
町 役 場
村 役 場

郡市町村是調査標準

第一條 一般民力ノ充實ト福利トヲ期センカ爲郡市町村長ハ郡市町村是ノ調査ヲ爲スヘシ

第二條 郡市町村是ハ統計並沿革ニ依リ郡市町村ノ過去現在ニ於ケル調査ヲナシ其結論ヲ以テ將來執ルヘキ方針ヲ確立スルニ在リ故ニ其ノ調査ハ徒ニ

大正
3. 11. 5
内交

形式ニ流ル、コトナク極メテ精神的ノモノトシ其結果ヲシテ確實有効ナラシムルニ努ムハシ

第三條 郡市町村是調査要項ヲ定ムルコト別冊ノ如シ

第四條 前條調査要項ハ各郡市町村ニ共通スルモノ、一班ヲ示シタルニ過キサルヲ以テ凡ソ郡市町村ノ位置、面積戸數、人口、山嶽、河川、港灣、池沼、耕宅地、山林、原野等ノ天然的狀態ヲ始メ人民ノ生業タル農業、林業、漁業、畜産、鑛産、商業、工業等ヨリ町村事業タル教育、衛生、警備、救濟等ノ施設並ニ勤儉貯蓄、基本財産蓄積ノ獎勵及施設運輸交通機關公共及私的團體ノ設備等ノ如キ苟モ地方固有ノ事業又ハ公益上重要ナリト認ムヘキモノハ悉ク其沿革並ニ現況ヲ調査スヘシ

(別冊)

郡 是

第一 郡是調査ハ左ノ事項ニツキ之レヲ調査スルモノトス

第一項 農業

普通農業、蠶糸業

第二項 林業

付部落有林野ノ統一整理

第三項 畜産業

第四項 漁業

第五項 鑛業

第六項 工業

第七項 商業

第八項 實業獎勵機關

第九項 教育

第十項 衛生

第十一項 勤儉、貯蓄、救濟

第十二項 公共團體基本財産及積立金

第十三項 運輸交通機關

第二 郡是調査ノ要項ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一項 農業

田畑山林原野池沼ノ割合米麥養蠶、茶、煙草、蔬菜果物其他、生産ト消費トノ比例、肥料供給ノ便否、水利勞力等ノ關係、産業組合、米券倉庫、地主ト小作人トノ關係及小作人ノ獎勵並其救濟方法、農家共勵組合等ノ沿革並ニ現況ヲ調査シ將來改良發達セシムヘキモノ、種類、順位、及方針ヲ定ムルモノトス例ハ左ノ如シ

第一目 普通農業

第一 米作附麥作

本郡ニ於ケル米ノ生産ト消費トノ關係ヲ見ルニ其生産額ハ幾許トナリ消費額ハ正確ノ調査ヲ爲スコト能ハスト雖トモ一人一日ノ消

費額ヲ米麥合シテ幾許トシ内幾割ハ米ヲ用フルモノトスレハ一日一人ニ付幾許ヲ消費スヘク又本郡ニ於ケル旅人ノ宿泊人員ヲ一ケ年間凡ソ幾許人トシ一人一泊幾許ノ米ヲ要ストセハ幾許ヲ消費スルヲ以テ之ニ郡民ノ消費額ヲ加フレハ其總額幾許トナル然ルニ本郡ノ産米ハ幾許ナルヲ以テ（生産ノ消費ニ超過スルコト幾許ニシテ此ノ金額幾何ニ達スルモ本郡民ハ他ニ收入スヘキ方途ナキヲ以テ一戸一ケ年ノ經費ヲ幾許トスレハ總計幾許ニシテ差引剩ス所僅カニ幾許ニ過キス）（生産ノ消費ニ及ハサルコト幾許ニシテ一石ノ代價ヲ幾許ト假定スルトキハ即チ幾許ノ米代ヲ他管ニ仕拂ハサルヘカラス）此ヲ以テ本郡ノ經濟的事情ハ米作業ニ對シ如何ニ其増加ヲ希フコト切ナルカヲ知ルニ足ラン

麥作ハ本郡農産物中稻ニ亞テ主要ナル位置ヲ占メ其ノ作付反別幾何收穫高幾許價格幾許ニ達スト雖トモ前項ノ比例ニ依リ算スルト

キハ尙幾許ノ不足ヲ生ス然レトモ之レカ改良ノ方法宜シキヲ得ハ少クトモ幾許ヲ増スコト疑ヲ容レス依ツテ米作及麥作ニ付テハ左ノ方法ニ依リ之レカ改良發達ヲ期セントス

(イ) 灌溉事業

普通農村トシテノ田畑トノ割合ハ如何ナル程度ヲ適當トスルカハ農業經營ノ目的如何ニヨリテ差異アルモ米作ヲ主トスル地方ニ在リテハ凡ソ田七ト畑三トノ割合ニテ足レルカ如シ若シ此ノ割合ヲ以テ不可ナシトセハ本郡ハ(畑ニ於テ幾許ノ餘裕アリテ其ノ内水田ニ適スル所幾許ヲ存ス)(畑ニ於テ餘裕ナキモ開墾シテ水田ト爲スヘキ原野幾許ヲ存ス)而シテ開田ノ事タル灌水ノ設備ト關聯シテ始メテ功ヲ奏スヘキモノナレハ先ツ灌水ノ利ヲ講セサルヘカラス即チ本郡界何山脈ヨリ發スル何々川ハ流域幾許ニシテ何町何ヶ村ニ涉リ水量幾何ヲ存シ落差幾許アルヲ

以テ何町村ヨリ何町村ニ對シ尙幾許ノ水路ヲ設クルヲ得ヘシ然ルトキハ此間ニ於テ尙幾許ノ水田ヲ開發スルニ至ルヘク爲メニ幾許石ノ收穫ヲ増殖シ得ヘシ故ニ爾後幾年ヲ期シ此ノ事業ヲ完成セントス

(ロ) 排水事業

排水ノ完全ナラサルハ稻ノ生育ニ必要ナル土地ノ理化學的狀態ヲ劣惡ナラシメ從ツテ其ノ生産ニ影響スルコト頗ル大ナリ本郡内ニ於ケル水腐地ハ(幾町步ニシテ毎年僅ニ幾許ノ收穫ヲ見ルニ過キス)(幾百町步ニシテ名ハ水田ナリト雖トモ比年冠水ノ爲メニ收穫ヲ見ルニ至ラス)何年毎ニ幾許ノ收穫アレハ望外ノ幸トナスノ狀況ナリ故ニ何町村ヨリ何町村ニ至ルノ間幾町步ノ區域ヲ有スル某普通水利組合ト何町村ヨリ何町村ニ至ルノ間幾町步ノ區域ヲ有スル某普通水利組合トヲ併合セシメ其個々ニ經營

スル排水機ヲ徹シテ幾馬力ノ大排水機ヲ何處ニ設置シ排水ヲ講
スルトキハ爲メニ冠水ノ害ヲ避ケ得ヘク地益次ノ如ク増加スル
ニ至ランコト必然ナリ依ツテ爾後幾年ヲ以テ其事業ヲ完成セシ
メントス

(現在地益調、事業完成後ノ豫想地益調ヲ調査記入ス)

(ハ) 耕地整理

本郡内耕地ハ高低甚タ少ナキニモ係ラス整理セラレタルモノ幾
町歩ニ過キス殘餘幾町歩ハ依然トシテ舊態ヲ存ス若シ之レヲ整
理シテ地形ヲ正シ水路溝渠ヲ整フニ於テハ爲メニ幾町歩ノ増歩
ヲ見稻ノ收穫平均幾許ヲ増シ幾許石ノ利益アルヘシ依ツテ爾後
幾年ヲ期シ其事業ヲ完成セシメントス

第二 肥料

肥料ハ農業資本ノ主位ヲ占ムルモノニシテ之レカ製造購入ノ改

良施設如何ハ農家經濟上至大ノ關係ヲ有シ産業發達上忽ニスヘ
カラス仍ツテ左ノ方法ニ依リ其ノ目的ヲ達セントス

(イ) 堆積肥料

本郡耕地反別ハ幾許ニシテ一反歩ニ付平均幾許ノ肥料ヲ購入ス
ルモノトスレハ實ニ幾許圓ヲ仕拂ハサルヘカラス故ニ堆積肥料
ノ製造ヲ獎勵シ其ノ材料ノ蒐集ト製造法ノ改善ニ注意セシムル
トキハ將來購入肥料ノ幾割ヲ節スルヲ得ヘシ依リテ爾後幾年ヲ
期シ其目的ヲ達セントス

(ロ) 肥料ノ共同購入

前項述フルカ如ク本郡購入肥料ノ量ハ少クモ耕地一反歩ニ付幾
許ヲ下ラサルヘシ而テ堆積肥料ノ獎勵ニ依リテ其何分ノ何ヲ減
スルモ殘幾許ヲ共同シテ購入スルトキハ幾許ノ利益ヲ得ルヲ以
テ幾圓ノ出費ヲ節約シ得ヘシ依リテ爾後幾年ヲ期シテ其目的ヲ

達セントス

以上列記ノ事項ニシテ豫想ニ違ハス完成スルトキハ其ノ効果トシ
テ左ノ如キ新生産ヲ得ヘシ

一、灌溉開發ニ依ル利益

(イ) 田ノ反別増加 幾町步價額幾許

(ロ) 米ノ生産増加 幾許石價額幾許

二、排水完成ニ依ル利益

(イ) 冠水地ノ減少 幾町步價額幾許

(ロ) 米ノ生産増加 幾許石價額幾許

(ハ) 麥ノ生産増加 幾許石價額幾許

三、耕地整理ニ依ル利益

(イ) 田反別ノ増歩 幾反步價額幾許

(ロ) 米ノ生産増加 幾許石價格幾許

四、堆積肥料ニ依ル利益

(イ) 見積價格 幾許

五、肥料共同購入ニ依ル利益

(イ) 見積價格 幾許

(第二目蠶糸業以下ハ右ニ準シ調査スルモノトス)

(別冊)

町村是 (市是調査之レニ準ス)

第一 町村是調査ハ左ノ事項ニツキ之レヲ調査スルモノトス

第一項 區域、位置、境界、廣袤、面積

第二項 地勢及交通

第三項 地質及土性

第四項 氣候

第五項 戶口

- 第六項 土地
第七項 勞力
第八項 生產及消費
第九項 町村輸出入
第十項 貯蓄
第十一項 信用機關及金融
第十二項 財產及其移動
第十三項 地主及小作
第十四項 部落、團體及慣行
第十五項 公課及財政
第十六項 教育
第十七項 衛生
第十八項 警備

- 第十九項 救濟
第二十項 結論

以上事項並ニ右ノ要項ハ主トシテ農村ヲ標準トシテ示シタルヲ以テ商工業地及漁業町村等ハ隨意本記載例ヲ案シテ必要ノ調査ヲ缺クコトナキ様注意スヘシ

第二 町村是調査ノ要項ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一項 區域、位置、境界、廣袤、面積

區域ノ大字名及ビ字名ヲ記シ其管區ノ沿革異動ヲ始メ位置境界廣袤面積等ヲ調査シテ詳記スヘシ

第二項 地勢及交通

山岳丘陵平原等ノ配置其割合高低傾斜ノ狀態ヨリ河川、湖沼等ノ大小流域水源、水勢水利、水害ノ有無及其ノ狀況、道路、水路、鐵道、港灣等ノ狀態ヨリ交通運輸ノ便否ニ關スル地理的的狀態ヲ網羅記述スヘシ

本表ハ三ヶ年以上可成多年ノ事實ヲ記入スルヲ得ハ可ナリ温度攝氏又ハ華氏ノ別ヲ記シ降水量ハ「ミリメートル」ヲ單位トスヘシ經驗上ノ觀測ハ多寡ノ文字ヲ以テ表示スルモ可ナリトス

第二 降霜雪表

年次	霜		雪	
	初霜月日	終霜月日	初雪月日	融雪月日
年				
年				
年				

本表ハ前表ノ例ニ準シ適宜其量ヲモ付記スヘシ

第五項 戸口

戸口ニ關スル統計調査ハ曆年末日ノ調査ニ據ルヲ例トスルモ年月異ナル場合ハ一表毎ニ調査ノ月日ヲ附記スヘシ

第一 在籍及現住戸數人口

在籍	現住	戸數	人口		平均一戸當人口	一方里ニ於ケル人口
			男	女		

表中一戸當リ及一方里ニ於ケル人口平均ハ單位以下二位ヲ記入シ端數ハ四捨五入トスヘシ在籍並ニ現住ニ於テ差違アルトキハ其事由ヲ調査記載スヘシ

第二 年齢別現住人口

年齢	人口		對全人口ニ百分率	年齢	人口		對全人口ニ百分率
	男	女			男	女	
五歳未満				五十五歳以上			
五歳以上				六十歳未満			
十五歳未満				六十歳以上			
十五歳以上				六十五歳未満			
				六十五歳以上			
				七十歳未満			
				七十歳以上			

十五歲以上						七十歲以上	
二十歲以上						七十五歲以上	
二十五歲以上						八十歲以上	
三十歲以上						八十五歲以上	
三十五歲以上						九十歲以上	
四十歲以上						百歲以上	
四十五歲以上						計	
五十歲以上							
五十五歲以上							

第三 人口増減累年比較

明治 年	前年未	出生	送籍	移住出入	當該年度	人口千人ニ對	備 考
	總人口	超過數	差引數	差引數	増減數	スル増減歩合	
	計						

計	全	全	全	全
	年	年	年	年
	計女男	計女男	計女男	計女男

本表ニハ成ルヘク五ヶ年以上多年ニ及フ現住人口ヲ記スルヲ可トスルモ調査上ノ都合ニヨリ其在籍數ヲ掲ケケナシ本籍カ現住カヲ附記スルヲ要ス又表中出生超過數トハ當該年度ニ於ケル出生數ヨリ死亡數ヲ減シタルモノヲ掲ケヘシ備考欄ニハ出生並ニ死亡人數移住出入別人數入籍並出籍者數等ヲ記シ差引數ノ基礎ヲ明ニスヘシ其他本欄ニ記載スヘキモノハ戶數、人口増減ノ事由等ニシテ可成其趨勢ヲ明示スルヲ可トス

第四 職業別戶口

職業別	農業		商業		工業		漁業		雜業		總計	
	人口	戶數	人口	戶數	人口	戶數	人口	戶數	人口	戶數	人口	戶數
	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女	計	女
專業												
兼農業												
兼商業												
兼工業												
兼漁業												
兼雜業												
總計												

本表ノ人員ハ業務ニ從事スルモノニ限ラス其ノ家族ヲモ算入スヘシ尙營業ノ種類狀態等ノ大要ヲモ附記スルヲ要ス

第五 農業就業者數

業主及家族 常備人	就業		備考
	男	女	
計			

本表家族ノ人員ハ實際農業ニ從事スル者ヲ掲クヘシ又男女人員ノ差著シキ場合ニ於テハ備考欄ニ其ノ事由ヲ明記スヘシ

第六 出稼及入稼人數

出稼人	國內		海外	備考
	男	女		
入稼人				

計

本表内國ノ部ニハ本町村住民ニシテ他國へ出稼他町村住民ニシテ本町村へ入稼スルモノ、數ヲ示シ海外ノ部ニハ海外人ニシテ本町村へ入稼スルモノ、數及本町村住民ニシテ海外へ出稼スルモノ、數ヲ記載スルモノトス

第六項 土地

甲 土地ノ所有權ニ關スル區別

第一 御料地及國有地々目反別

溜池	雜種地	山林	御料地		國有地		合計
			臺帳反別	見積反別	臺帳反別	見積反別	

一一一

計	何々	何々	何々	湖沼	原野

表中見積反別ハ臺帳記載ノ如何ニ係ラス最モ實際ニ近キ反別ヲ記スヘク又山林原野等ノ如キハ樹木ノ有無及種類並ニ其狀態及沿革等ヲ記シ利用上人民トノ關係等ニ就キ説明ヲ附スヘシ

第二 民有地々目反別地價

縣有	郡市町村區有	水利組社寺個人	租地		縣有	郡市町村區有	水利組社寺個人	合計
			有租地	免租地				

一一三

何	々
計	

表中ノ所有者數及平均數ハ戸數ニ依リ記入スルヲ便ナリトスルモ其ノ之レニ依リ難キトキハ人員ヲ記スモ可ナリ

原	山	宅	畑	田					
野	林	地							
					反	別	地	價	全上所有者戸數
						平均	一	戸	當數
						別	地	價	

(ロ) 本町村住民カ他町村ニ於テ所有スル土地反別地價

何	々
何	々
何	々
計	

(乙) 土地ノ使用權ニ關スル區別

第一 耕作者ト耕作地トノ關係

(イ) 町村内外耕作地反別

田									
畑									
計									

本町村内耕地總反別
 本町村住民カ本町村内ニ於テ耕作スル反別
 他町村住民カ本町村ニ入作スル反別
 本町村住民カ他町村ニ出作スル反別

出作地ハ何町村ニ多クアリテ入作ハ何町村ヨリ來ルモノ多キ等ノ事ヲ付記シ且ツ出入作アル理由ヲモ記述スヘシ

(ロ) 耕作地ノ大小ト耕作者戸數

計	畑	田	三反歩	三反歩	五反歩	一町五反歩	二町	二町五反歩	三町歩
			未滿	五反歩	一町歩	二町五反歩	三町歩	以上	
			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸

表中反別ハ本町村ノ耕作者カ本町村内ノ耕地ヲ耕作スル反別ト他町村ニ出作スル反別トヲ併記スヘシ

(ハ) 自作小作反別戸數

計	畑	田	地	自作	小作	平均
				反別	反別	反別
				戸數	戸數	戸當リ

表中戸數ハ本町村住民ノ耕作者ニ限り反別ハ本町村及他町村ノ分ヲ併記スヘキモノトス○自作兼小作者アルトキハ本表ニ尙其欄ヲ設ケ記入スルモノトス

第二

植林秣用其他生産上ノ目的ヲ以テ町村内又ハ町村外ニ於テ耕地以外ノ土地ヲ借地又ハ使用スル反別

原	山	野	林	反	民	共	同	數	使用ノ目的
				御料地又ハ國有地	有地	員	個	人	
				計	計	組	人		

地 産 生 接 直							地 目	臺帳反別	見積反別	百分比例
地 耕 不				地 耕		計				
何	鹽	牧	原	山	畑					
々	田	場	野	林						

(丙) 土地ノ利用
第一 土地利用ノ種類別反別

入會關係ノ町村名及入會權ニ關スル條件沿革等ニツキ説明ヲ附スヘシ

計	原野	山林

第三 入會權ニ關スル土地

本町村内ニ在ル土地ニシテ他町村住民ノ入會權ヲ有スル反別
他町村ニ於ケル土地ニシテ本町住民ノ入會權ヲ有スル反別

借地所在町村名借用條件等ニ關シ詳記スヘシ

計	何々	何々	雜種地

產生不				地產生接間							
何	社	荒	墳	計	何	用	道	溜	池	宅	計
々	寺	蕪	墓		々	惡	路	池	沼	地	

地	計
合計	

表ハ官民有ノ區別ニ拘ラス町村區域内ノ現在反別ヲ記スヘシ
見積反別ハ成ルヘク現實ノ反別ヲ見積記入スヘシ

第二田 地

(イ) 乾田濕田及旱損水腐地反別	
地	種
田	作付反別
不定地	乾田
	濕田
	旱損地
	排水腐地
	排水能ハサル地

表中不定地トアルハ地目田地トシテ取扱ハレサルモ毎年作付ヲ爲シ居ル場
所ヲ指ス故ニ地目ノ如何ニ係ラス此ノ如キモノハ之レヲ合算記入スヘシ

見積反別	山林	杉林	檜林	竹林	何々林	計	原	秣場	林相地	何々	野	計
	山											

山林原野ノ利用方法林業狀態部落有林野統一整理狀況及秣場其他ノ使用ニ關スル慣行等ニ付説明ヲ詳述スヘシ

(丁) 土地ノ價格

山	畑			田	上			中			下		
	茶園	梨園	畑地		一反歩	一反歩	一反歩	一反歩	一反歩	一反歩	一反歩	一反歩	一反歩
林					地價	地價	地價	地價	地價	地價	地價	地價	
					賣買價格	賣買價格	賣買價格	賣買價格	賣買價格	賣買價格	賣買價格	賣買價格	
					割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	

原野	何々											
----	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

各種土地ノ賣買價格ニ等差アル理由ニツキ詳述スヘシ○果樹園桑圃等ノ如キ永年植物ヲ植付タル土地ハ其作物ヲ添付シタル價格ヲ記入スヘシ○山林ハ立木ヲ除キタル價格ヲ記入スヘシ○地價ハ凡テ公定地價ヲ記入スヘシ

第七項 勞力

第一 農家作業月次分配

月	次	旬			晝	間	夜	間	雨	(雪)	天
		上旬	中旬	下旬							
一	月										
二	月	〃	〃	〃							

十	九	八	七	六	五	四	三
月	月	月	月	月	月	月	月
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

十	十
二	一
月	月
〃	〃

表中ニハ男女作業ノ種類ヲ簡明ニ記載シ尙生産關係ヲ記述スヘシ

第二 農家休業日

五	四	三	二	一
月	月	月	月	月

年 季 雇	農 業 日 雇	何 々 日 雇	何 々 日 雇	何 々 々	何 々 々

日雇人ノ賃銀以外ニ飲食物ヲ給スル場合ハ一人一日分ノ見積價格ヲモ付記
スヘシ○年季雇人ニ給與スル仕着等モ亦同シ○其他雇人契約及慣例ハ成ル
可ク詳細ニ記載スヘシ

第五 職工其他ノ賃銀及就業關係

上	職	下	職

上 職 下 職

理 髮	大 工	石 工	木 挽 職	車 夫	渡 守

本表賃銀ハ一日分又ハ一年分ヲ記シ付記ニハ日ニ依リシカ年ニ依リシカヲ
明記シ置クヘシ

第八項 生産及消費

(甲) 生産ノ設備

第一 土地ニ關スル設備
(イ) 耕地區劃ノ大小

計	何々々々		何々々々		地目別	反別	筆數	平均一筆反別
	畑	田	畑	田				

表中ノ反別ハ其町村區域内ノ土地ニ限ル尙本表ノ外ニ區劃廣狹ノ事實ヲ現
 ハス爲一筆内ノ分區有無多少ヲ説明シ又區劃ヲ擴メ得ヘクンハ其理由若シ
 擴メ難ケレハ其理由ヲ附記シ耕地整理又ハ畦畔改良ヲ行ヒタル地ノ如キハ
 一區劃ノ面積等ヲ説示スヘシ

(ロ) 耕地整理並ニ用惡水路及灌溉排水ノ設備

耕地整理ハ既ニ之レヲ行ヒタル地ニアリテハ其位置面積設計、工費、着手竣
 功ノ時期成功後ノ生産上ニ於ケル効果等又施行ノ企劃アル地ニ就キテハ之レ
 カ計劃詳細ヲ記ス、シ
 用惡水路、溜池、江丸、堰樋、灌排水機ノ設置等其ノ地方ノ状態ニ應シテ灌
 溉排水ノ設備ニ缺クル處ナキヤ若ハ缺如アリトスレハ其ノ狀況並ニ生産上ニ
 及ホス影響等ヲ記シ且ツ水利組合關係等ニ就キテ詳細説示スヘシ

(ハ) 河川及堤防

河水ノ逆流及汎濫、堤防ノ決潰等ニ依リ水害ヲ被ムルコトノ有無時期程度、
 狀況等ヲ記シ之レカ除害防禦ニ關スル堤防其他ノ設備並ニ河川改良浚渫等ノ
 工事設計工費及負擔ノ狀況及水害豫防組合關係等ヲ詳記スヘシ

(ニ) 道路梁橋

大小道路ノ状態運輸交通ノ便否、修繕ニ關スル工費及其負擔ノ狀況等ヲ詳記
 スヘシ

(ホ) 砂防工事其他土地改良ニ關スル設備
 前掲設備事項ノ外土地改良ノ目的ヲ以テスル砂防工事其他ノ設備アラハ之レ
 ヲ詳記スヘシ

第二 土地以外ノ生産設備

(イ) 農用屋舎及農業關係團體
 肥料舎、米券倉庫、穀倉、養蠶室、乾繭所、蠶卵紙貯藏室、製茶室等凡ソ農
 事ニ關係アル屋舎並ニ設備等ノ有無構造大小及農會農友會地主會等ノ記事其
 他ノ事項ヲ記載スヘシ

(ロ) 農用器具

農具ノ名稱ヲ掲ケ且ツ農具若クハ製茶、養蠶、其他特殊ノ事業ニ供スル器具
 ニシテ改良ヲ加ヘタルカ又ハ近年ノ使用ニ屬シ便利ヲ感スルモノ、如キハ其
 ノ構造、使用方法、効果等ヲ説明スヘシ

(ハ) 牛馬飼養數及用途

計	馬	牛	耕作用		運搬用		肥	踏	蕃	殖	用	何	々	計
			飼養 戸數	頭數	飼養 戸數	頭數								

(ニ) 各種工場

製糸工場	製紙工場	蘭莖工場	機業工場	工場數		使用職工數		資本總額	生産總額
				株式 合資 合名 個人 計	株式 合資 合名 個人 計	株式 合資 合名 個人 計	株式 合資 合名 個人 計		

第二特殊產物

(イ) 果實類 (最近一ヶ年產額)

作物種類	作付反別		株數	一反步當收穫			總收量	單價	價格
	果樹園ヲナサ 反別	園ヲナサ 反別		上	中	下平均			
梨									
桃									
葡萄									
柿									
何々									
何々									
計									

表ニハ自家用ニ供スルモノヲ除クヘシ但シ自家用ニ供スル殘餘ヲ販賣スルモ

ノニツキテハ其狀況ヲ付記スヘシ○園地ヲナサスシテ宅地ノ周圍、畦畔等ニ點々植栽シアルモノハ見積反別ヲ記スヘシ○數量ニハ個數又ハ貫目又ハ取引上慣用ノ稱呼ヲ用ユルモノ可ナリ果樹ノ年齡作付反別、株數増減ノ狀況並ニ收量増減ノ模様ハ詳細付記スヘシ

(ロ) 特用作物類 (最近一ヶ年產額)

作物種類	作付反別	一反步當收穫			總收量	單價	價格
		上	中	下平均			
葉煙草							
薯蕷							
薯蕷							
菘							
荏							
胡麻							

製茶價格及產額平年比較ヲ付記スヘシ

(二) 和紙

其一 生皮

茶ノ項 生葉ノ目ニ準シ記載スヘシ

其二 製紙

茶ノ項 製茶ノ目ニ準シ記載スヘシ

(ホ) 蘭

其一 蘭草

茶ノ項 生葉ノ目ニ準シ記載スヘシ

其二 蘭莖及其他ノ製作品

茶ノ項 製茶ノ目ニ準シ記載スヘシ

(ハ) 漆

其一 生漆

茶ノ項 生葉ノ目ニ準シ記載スヘシ

其二 漆器

茶ノ項 製茶ノ目ニ準シ記載スヘシ

以上記載ノ外特用植物ニシテ原料販賣、加工品販賣ヲ爲スモノハ前項茶以下ニ做ヘ記載スヘシ

第三 養蠶

(イ) 養蠶業狀況

養蠶季節、飼育種類、蠶種ノ供給、貯藏ノ設備及方法、蠶蛆其他ノ被害多少、繭ノ販賣方法並ニ賣先地稚蠶其他共同飼育ノ有無、夏秋蠶飼育ノ消長、桑葉供給ノ關係及一般養蠶家ノ營業狀態等ヲ詳説スヘシ

(ロ) 桑葉 (最近一ケ年産額)

桑園反別	付反別	一反歩當收量			總收量	總價格
		上	中	下		
サ、ル反別	計					

收量ハ春蠶季ニ於ケル貫數ヲ掲ケ且夏秋蠶ニ對スル桑葉ノ準備過不足之レカ桑樹ニ及ホス影響桑園反別及産額ノ増減等ヲ付記スヘシ

(ハ) 飼育及産額 (最近一ヶ年産額)

蠶種類	飼育戸數	掃立高	繭收				總價額
			繭	玉繭	出殻繭	屑繭	
計							
春							
夏							
秋							

第四 畜産

(イ) 畜産狀況

牛、馬、豚、羊、鶏、家鴨等家畜家禽ノ種類、購入、繁殖、飼養(飼料トモ)管理、使用、販賣方法手續斯業盛衰ノ狀況ヲ詳記スヘシ

(ロ) 現在數及販出高

種類	現在額	産出數		平均單價	總價格	飼育若クハ製出戸數
		個	頭			
牛						
馬						
豚						
鶏						
家鴨						
鷄卵						

純然タル工業又ハ農産物ヲ原料ニ供シ或ハ農家ノ副業タルモノトノ別ナク總テ工業ニ屬スルモノヲ記載スヘシ（但シ前出特用植物中原料ト加工品トヲ販出スルモノハ本表ヨリ除キ特記スヘキモノトス）表ノ外營業組織原料需給關係販賣取引手續斯業盛衰ノ狀態等ハ洩ナク付記スヘシ

六四

第六 林産及其副産物

種類	木					計
	杉	松	檜	何々	何々	
數量						
平均單價						
總價						
格						

計	薪				
	木炭	椎茸	蕨類	雜菌類	何々

林副産物ノ數量ハ凡テ地方慣行ノ稱呼ニ從テ記載スヘシ

第七 水産

其ノ一 漁業ノ狀況

漁撈、採藻、水産加工ノ方法、漁船數、漁業者狀態、水産物販路販賣方法、漁業組合、水産組合關係、斯業盛衰狀況等ヲ詳説スヘシ

六五

紫雲英	刈豆	種類	第八肥料				
			乾錫	鯉節	棒鱈	何々	何々
		反別及製造戸數					
		一反步當收量					
		總收量					
		用途					

種類	計	藻類			介甲類	淡水魚類	鹹水魚類	種類
		肥料用	工業用	食用				
								(イ) 魚介藻類
								數量
								價格
								數量
								價格

(口) 加工水產

種別	金額		種別	金額	
	入	出		入	出
(丁) 生産收支計算					
第一 收支計算表					
養蠶			計		
畜産			何々		
工産			肥料		
林産及其副産			水産		
			何々		

種類	數量	價格	金額	
			入	出
第八 生産總額				
特殊農作物				
普通農作物				
野草				
堆肥				
何々				
何々				

野草ハ生草、乾草ノ別ヲ記シ其採取ノ場所、遠近功程等ヲ付記スヘシ○紫雲英、刈豆等ハ種子ノ需給關係、一反歩ニ關スル種子ノ量、價格、播種季節ヲ付記シ堆肥ハ製造原料及混和物ノ種類、製造ノ時期方法等ヲ詳説スヘシ

差引	支	收
支	出	入
出		
入		
超過		

(戊) 消費費

町村内ニ於ケル生産品ノ消費額

計	何	何	何	何	品名	生活用		生産用		價格計
						數量	單價	數量	單價	

第九項 町村輸出入

第一 生産品輸出額

本町村ニシテ生産シ町村外ニ輸出版賣シテ代價ヲ收受スル者ノ年額ヲ掲クヘシ

計	何	何	何	品名	數量	單價	價格

第二 需用品輸入額 (肥料ハ除ク)

輸入品ハ生活用(衣食住用品)生産用(農具、製造用原料品、全薪炭等ノ如キ)トシテ町村内ニ輸入スル物品ノ主要ナルモノヲ掲ケ年額ヲ計上スヘシ町

七四
 村内ニ於テ消費セス一旦輸入シテ更ニ全部ヲ他ニ輸出スルモノハ之ヲ省クモ妨ケナシ其ノ一部ヲ町村内ニ於テ消費スルモノハ輸入額ハ全部ヲ記シ備考トシテ町村内消費額ヲ區分附記スヘシ

品名	生活用		生産用		合計
	数量	単価	数量	単価	
何々々					
何々々					
何々々					
計					

第三 購買肥料輸入額

種類	数量	単価	價格	主ナル用途
鮮粕				

干 鱈									
大 豆 粕									
油 粕									
燒 酎 粕									
米 糠									
調合人造肥料									
過燐酸石灰									
人糞尿 他ヨリ 購入ノ分									
何々々									
計									

購入ノ手續共同購入ノ有無代金支拂方法、購入上ノ利弊等ヲ詳説スヘシ
 第十項 貯蓄

第一 株式及債券

種 目	券		利率 利子金額
	町村有 個人有	町村有 個人有	
新潟縣農工銀行株式			
何々銀行新株式			
日本石油會社株式			
寶田石油會社株式			
何々會社株式			
公債			
地方債			
何々社債			
計			

村有中ニ區有、學校有ヲ合計記入シ部落有、社寺有、私的團體有ノモノハ前
表ニ適宜一欄ヲ加ヘテ之レヲ掲クヘシ

第二 貸付金 (無盡講掛金等モ本項ニ記入ス)

種 目	區			別 計	利率 利子金額
	町村有 個人有	町村有 個人有	町村有 個人有		
農					
工					
商					
他町村へ貸付					
何々					
計					

第三 預金及貯金

種 目	預金額	貯		合計	利率	
		銀行	郵便		銀行	郵便
個人有預金						
利子金額						

革狀況並ニ規約等

- 第二 金融機關及貸金營業者ノ種類、組織營業方法及狀況等
- 第三 金品ノ貸借、質入擔保ノ貸借、信用貸借、期限、利率、貸借ノ多少難易、債務辨濟ノ狀況等
- 第四 金穀ノ貯蓄、個人團體ノ金穀、貯蓄方法等
- 第五 町村及公共團體並ニ個人ノ負債、負債額、利子額、負債ノ目的辨濟ノ方法等
- 第六 其他金融ノ狀況ヲ知ルヘキ必要ノ調査
- 第十二項 財産及異動
 - 第一 不動産ノ賣買、土地賣買ノ繁閑多少、種類、土地抵當流ノ有無多少等ニ關スル事項等
 - 第二 財産讓與分配、相續ニ因ル財産ノ讓與、及分家ノ際財産分割ノ有無及之レニ關スル事情等

- 第三 家産ノ隆替、家産ノ隆興シ又ハ衰替スル狀況並ニ其ノ事由等
- 第四 貧富ノ權衡、從前ニ比シ近年貧富ノ懸隔漸ク減少スルヤ又ハ増進スルヤ等ノ狀況及事由等
- 第五 町村内建物ノ總坪數及價格並ニ其異動狀況及貸家棟數及貸貸借ノ方法慣例等
- 第六 農商工業ノ運轉資本、其需要供給ニ關スル事情等
- 第七 財産總額及負債總額ノ比較

財産種目	本町村本町村全町村民ニ對 民有價格住民一戸當スル百分率		負債種目	本町村本町村全町村民ニ對 民有金額民一戸當スル百分率	
	土地	建物		新工銀行	農工銀行
貯金			何々會社	何々組合	何々銀行

計	其 他	蓄 貯					
		其 他	保 險	債 券	株 式	預 金	貸 付 金
計	何々水利組合 基本財産	何々町村 基本財産	何々基 金郡	何々基 金郡	新 潟 縣 學 校 基 本 財 産	他 町 村 民 ヨ リ	何 々

本表ハ町村有、部落有、社寺有、個人有ニ區別シ記入スル方最モ可ナリトス
此場合ニ於テハ便宜製表ヲ分別シ若クハ前様式ヲ交フル等夫々考案スヘシ

第十三項 地主及小作ニ關スル事項

第一 小作ノ種類及自作トノ損益比較

- 第二 小作契約年限及締約季節
- 第三 小作証書ノ有無及種類並ニ作物ノ制限
- 第四 小作料納付期限及豊凶ニ依ル料金ノ増減
- 第五 小作料怠納者ノ處分方法並ニ小作獎勵方法
- 第六 小作地ニ係ル諸費用ノ負擔
- 第七 地主ト小作人トノ關係並ニ慣行
- 第八 地主小作人間ノ交誼及紛議ノ有無並ニ小作人ノ保護方法
- 第九 小作料ノ種類並ニ金額

何	普通畑作	稻 田	種 類	小 作 料				
				小作料ノ種類	上	中	下	平均
々								

何々々	何々々								
-----	-----	--	--	--	--	--	--	--	--

表中小作料ノ種類ニハ地方慣行ノ稱呼又ハ永久、有期等年限別ヲ記入スヘシ
 ○欄外ニハ小作人及地主ノ所得歩合等ヲ詳記スヘシ

第十 其他小作上ニ於ケル必要調査事項

第十四項 部落團體及慣行

第一 部落ノ組織及交際並ニ組合組織慣行、組長區長ノ職務等

第二 私的團體ノ組織、施設、規約並ニ風俗トノ關係其他ノ狀況(戶主

會、婦人會、青年會等ノ如キハ勿論賴母子、無盡、日待、月待庚申

講ノ如キモノ迄一切ノ團體狀況ヲ記スコト)等

第三 社寺ニ關スル事項(神社祭典、佛寺緣日、年忘、法會、彼岸、

于蘭盆等、神佛祭祀ノ狀況ヨリ神社佛閣參拜ノ爲メ旅行スル慣行等

ノ調査ヲナスコト)

- 第四 冠婚、葬、祭上ニ關スル舊風習慣並ニ俚謠、舞樂、方言等
- 第五 農家中行事及商工業者ノ慣行等
- 第六 其他風俗習慣上必要ノ調査事項

第十五項 公課及財政

(甲) 公 課

第一 土地ニ關スル公課

種目	年次						平均
	年	年	年	年	年	年	
國稅地租							
縣稅地租割							
町村稅地價割 反別割							
水利組合費何々							
何々何々							

查スヘシ

九〇

(ハ) 五十年後ニ於ケル町村費額ト基本財産収入額トノ比較過不足
數ヲ調査スヘシ

第十六項 教育

(甲) 普通教育

- 第一 校數及位置、區域並ニ分校場數位置區域等
 - 第二 校舍及敷地並ニ運動場ノ坪數、構造、設備、狀況等
 - 第三 學級數、教員ノ配置、學務委員ニ關スル事項等
 - 第四 學齡兒童、就學、不就學ノ數及歩合、不就學ノ原因等
 - 第五 學齡兒童保護會並ニ就學獎勵方法、學用品ノ給與若クハ貸與方法、授業料ノ收納並ニ免除方法等
 - 第六 教育費收支決算並ニ基本財産トノ關係等
- 以上製表シ得ルモノハ表ヲ以テ示シ他ハ綴文表示スヘシ

(乙) 特種教育

本項ハ實業教育、補習教育、盲啞教育、女子教育、貧民教育等種別ニ從ヒ項
ヲ分チ普通教育ノ例ニ準シ成ル可ク詳細ニ記入スヘシ

第十七項 衛生

第一 公共衛生ニ關スル事項

- (イ)(ロ)(ハ)(ニ)(ホ)(ヘ)(ト)
- 第一 傳染病豫防ニ關スル組織、方法、經費等
 - 傳染病院（隔離病舎）設置使用並ニ經費等
 - 上水道ニ關スル設備、維持經費其他
 - 下水道ニ關スル設備、經費其他等
 - 公園ニ關スル設備、維持經費其他等
 - 火葬場、墓地等ノ設置、管理、維持經費其他等
 - 屠場ニ關シ全上
- 第二 個人衛生ニ關スル事項

九一

- (イ) 醫師、看護婦、産婆ノ數及配置方法其他ノ狀況
- (ロ) 罹病者數並ニ病症別死亡率出産、死産等
- (ハ) 衛生組合ノ活動狀況等其他

第十八項 警備

第一 火防ニ關スル警備組織ノ詳細、經費等

第二 水防組ノ組織、沿革、施設經費等

第十九項 救濟

第一 細民部落ノ状態及其救濟ニ關スル施設方法、經費等其他

第二 鰥寡孤獨、不具疾病者及免囚等ニ關スル保護事業ノ施設有無及方法經費等其他

第二十項 結論

前十九項其他ノ調査ニ依リ、(一)不利益ナル事實、(二)有利ナル事實ヲ發見スヘキヲ以テ之レニ應スヘキ將來ノ施設方法並ニ改善意見ヲ立テ之レヲ是ト定メ之

レニ從ツテ經營スヘク項ヲ分チ詳細記述スヘシ今試ミニ其例二三ヲ示セハ次ノ如シ

第一 不利益ナル事實ニ應スヘキ將來ノ施設

(イ) 土地ハ年々富者ノ兼併スル所トナル狀況アラハ其救濟方法施設ノ大要

(ロ) 小作ノ收得少クシテ憐ムヘキ状態ナラハ其救濟及獎勵ノ方法

(ハ) 土地改良若ハ開田ヲナスニアラサレハ村民ノ生活ニ窮迫ヲ告ク

ルノ狀況ナラハ其事業ノ計劃及施設方法

(ニ) 排水灌漑宜シキヲ得ヌ年々住民ノ生産上ニ被害アラハ其防禦方法

(ホ) 徒ラニ道路ノ修築ニ競ヒ町村費濫出ノ傾向アラハ其整理方法

(ヘ) 某々生産業ノ改良行ハレサレハ其改善方法

(ト) 風俗上如何ナル状態ハ矯正セサルヘカラナルモノナルコトヲ發

見セハ其矯正策

(チ) 人口過剰ニシテ生産消費相償ハサルヲ發見セハ其應急策

(リ) 教育上ノ施設ニ付欠陥アラハ其改善方針及施設方法

第二 有利ナル事實ニ應スヘキ將來ノ經營

(イ) 交通便ナルヲ以テ生産物並ニ貨物ノ運搬ニ利アルノ狀況ナラハ

如何ニシテ生産業ノ増加ヲ計ルヘキヤノ意見並ニ施設ノ大要

(ロ) 山林原野ニ墾闢ノ望ミアル土地アラハ其之レニ對スル事業ノ計

劃

(ハ) 蠶業又ハ菓樹ニ適スルノ土地タルヲ知ラハ其事業ノ獎勵並ニ施

設方法

(ニ) 産業組合ノ成績優良ナラハ更ニ之レヲ助長スヘキ方策

(ホ) 村營火葬場ノ設置ヲ爲ス望ミ多シトセハ其施設意見並ニ計劃ノ

大要

(ヘ) 向後何年ニシテ町村費支出ヲ基本財産收入ニヨリテ支辨シ得ル

ノ見込アラハ尙其餘力ハ如何ニ利用スヘキカニ付考案ノ大要

(ト) 染織業者多クシテ其生産亦多キヲ知ラハ更ニ之レヲ獎勵シ改善

スルニハ如何スヘキカ其方針ニ關シ詳細ノ意見

(チ) 住民ノ負擔ニ餘力アリ町村事業ノ尙企圖經營スヘキ餘地アリト

知ラハ如何ナル事業ヲ爲スヲ可トスヘキカ其施設方針

新潟市東堀前通九番町

(一) 新編 新編 新編
(二) 新編 新編 新編
(三) 新編 新編 新編
(四) 新編 新編 新編
(五) 新編 新編 新編
(六) 新編 新編 新編
(七) 新編 新編 新編
(八) 新編 新編 新編
(九) 新編 新編 新編
(十) 新編 新編 新編

大正三年十月二十一日印刷
大正三年十月二十五日發行

編輯兼 新潟市東堀前通九番町
發行者 高橋ルイ

印刷所 新潟市東堀前通九番町
高橋活版所



終

